

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成17年6月16日(2005.6.16)

【公開番号】特開2003-224542(P2003-224542A)

【公開日】平成15年8月8日(2003.8.8)

【出願番号】特願2002-21234(P2002-21234)

【国際特許分類第7版】

H 04 J 14/00

H 04 J 14/02

H 04 L 1/00

【F I】

H 04 B 9/00 E

H 04 L 1/00 B

【手続補正書】

【提出日】平成16年9月9日(2004.9.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0032

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0032】

図1、図4及び図5に示す実施例と同様に、光送信装置122-1~122-mは、既存設備110の光送信装置112-1~112-nよりは高い誤り訂正(FEC)能力を具備する。光アンプ114-1~114-nの出力段階及び光アンプ124-1~124-mの出力段階では、各追加波長 $b_1 \sim b_m$ の光パワーと各既存波長 $a_1 \sim a_n$ の光パワーは等しくても良い。図6に示す実施例では、制御回路130が、各追加波長 $b_1 \sim b_n$ の光パワーが、既存波長 $a_1 \sim a_n$ の光パワーよりも( $R_1 - R_2$ )(dB)だけ低くなるように、光アンプ126cを帰還制御するからである。